

令和元年度 第1回総社公民館運営推進委員会
開催結果概要

全ての協議事項について、承認されました。

意見及び質疑応答の概要は以下のとおりです。

(C 委員)

前橋市公民館条例にある総社公民館の対象区域と実際の自治会区域とはマッチしているのか。

(A 委員)

条例にある対象区域は行政区域の表示。ここにある自治会はすべて網羅されている。

(C 委員)

地元の城川公民館は市からの補助を受けているという関係で城川地区の人が利用することになっているが、総社公民館はその対象区域の人が利用できるということか。

(事務局)

利用における線引きはない。総社地区ではないから使えないということはない。しかし、団体登録する際などは連絡調整をスムーズに行いたいということで極力、地区内の方に代表者になってもらっている。

(E 委員)

多彩な事業展開で非常に心強い。市の公民館審議会にも出ているが、総社の特色という、他の地域に比べると非常に子育て・子どもに関する事業が活発で形になっているということだ。先ほどの説明にも子ども向けの講座はどれも抽選で人気だということだが、一層推進していただきたい。

また、総社は秋元公をはじめ、歴史ある地域。それを活かした展開を今後一層充実して欲しい。

(A 委員)

公民館事業の中で、国などから補助金、助成金をもらっている事業はあるか。

(事務局)

少なくとも昨年・今年度間に直接的に補助・助成を受けている事業はない。

(A 委員)

文化祭にあるペープサートとは何か。

(G 委員)

話の中の登場人物の絵に棒をつけてお話をしたり動かしたりするもの。

(A 委員)

図書室（図書館総社分館）の入館者数などのデータは公民館では持ちえないのか。

(事務局)

市立図書館分館という性格上、数などの把握はしていないが、確かに一緒にやっている場所でもあるので、必要であれば次回の会議などで参考に推移・数値を示したい。

他館などでは公民館の事業と図書館（分館）の事業連携なども行なっているので、当館も主催事業と関連図書紹介など、連動した展開をしていきたい。

(J 委員)

この地区が子育てに力を入れてくれているというのは非常に有難いと思う。子育て支援などにおける「講演会」などは実施しているか。また計画はあるか。

(事務局)

このところ、ゲスト講師を招いての単独の講演会的なものはない。「子どもを明るく育てる地区別会議」などに識者を呼んで講演会するなどはタイミングとしてはいいかもしれない。

(J 委員)

学校もスクールカウンセラーはいるが、直接伝えづらいことも、外部の立場の人が話して下さるといいと思うし、それが保護者には伝わることもあるように感じている。一方で、なかなか時数の関係もあり開催できない現状もあり、それを公民館でやってもらえると有難い。今後ご相談させていただきたい。

(事務局)

なかなか講演会単独であると、集客がなかなか厳しいと思う部分もある。親子共々忙しいと言われていることもあり、例えば公民館の何かの事業の中で外部識者を呼んで話をしてもらい、親子向けに何かをしてもらうことなどを考えていきたい。

(F 委員)

総社の大きな特色として、「総社歴史資料館がある」ということがある。市内にはいくつかしか歴史資料館はない。コミュニティデザインの中に、この総社歴史資料館は是非入れて欲しい。

(事務局)

ご指摘のとおりであり、是非加筆修正させていただきたい。(→資料修正済み：添付ファイル参照)

(C 委員)

旧日本間酒造店舗と公民館との関係はどうか。

(事務局)

どういう関係かを整理すると、旧日本間酒造店舗は市が寄付を受けた。市の担当セクションは文化財保護課。基本方針とすると「地元で使いたいように考えて使うこと。歴史散策・まち歩きの拠点、一服をしてもらう場所にする」というのが基本方針。さらに新しいコミュニティの一つとしていきたいという市の方針もある。その上で平井前連合会長の時に、総社地区自治会連合会として市から借り受けるということになり、その連合会事務局として公民館はサポートしている。

(以上)